



さいたま市議会議員（2期目）
市民の目線、初心を忘れずに！

佐伯かずみ

NO.63



佐伯かずみは、性別・年齢・障害・国籍に関わらず誰もが参画できる
元気なチームさいたま市を目指します。

9月議会開会(9/6~10/20)



こんな議案があがっています！（可決は議会最終日）

◎「さいたま市いじめ問題再調査委員会条例の制定について」

これは「いじめ防止対策推進法」に基づいて、市長による調査を行うために「さいたま市いじめ問題再調査委員会」を設置するというものです。現状ではいじめがあったと認められた時は、学校側が調査対応し、教育委員会と連携して問題に対処しています。重大事態（重大な被害がある、または相当以上学校欠席を余儀なくされている）があり、市長が再調査を認めたときは、再調査委員会の立ち上げができるという条例の制定です。いじめのケースによって委員会を5人以内の委員で都度たち上げるとのことです。

◎「さいたま市放課後児童クラブ条例の一部を改正する条例の制定について」

現在さいたま市では、待機児童が多く、保護者の負担も多いという現状から、現在の放課後児童クラブを学校の余裕教室等を活用した新たな放課後の居場所への転換を図っていく方向です。

「(仮)さいたま市放課後子ども居場所事業」は、希望するすべての児童の居場所を 17時まで提供し、保護者の就労等条件があれば、その後19時まで現在と同様の運営を行う内容となっています。また保護者負担は公設の放課後児童クラブをベースに利用時間帯に応じて設定する予定(低所得者には減免制度を導入)です。

令和6年度から、西区、中央区、浦和区、岩槻区の公営の学童クラブ一か所、合計4か所をモデル校として、待機児童の解消を目指し開始します。

今期文教委員会の委員長となりました。初めての委員長。不安もありますが、しっかりと委員会運営をしていきたいと思えます。私は社会教育にも携わってきましたので、子どもの学びとともに大人の学びにも力を注ぎたいと思えます。しっかり務めてまいります。応援してくださいね。



9月議会は令和4年度の決算審査も行います



令和4年度の決算の特徴は…

令和2年度に次ぐ過去2番目の規模となりました

一般会計歳入決算額は、6,649億2百万円(前年度比1.7%増)

一般会計歳出決算額は、6,558億93百万円(前年度比2.5%増)

実質収支は、59億61百万円で連続して黒字を達成しました。

歳入は個人市民税3.3%増や地方消費税交付金の7.2%増、地方交付税は交付基準額において収入が増えたため減額された(26.4%減)。

歳出はコロナワクチン事業等で衛生費が11.9%増、商工費は中小企業資金融資やプレミアム商品券等で11.8%増、土木費は市街地再開発事業や都市公園整備事業などで5.5%増となりました。

さいたま国際芸術祭 2023

いよいよさいたま国際芸術祭が今年の10月7日(土)から12月10日(日)までの65日間を会期として始まります。

メイン会場は旧市民会館おおみや、なのでこのチラシを受け取ってくださる方は比較的近いのでぜひお出かけください。(その他会場として RaiBoc Hall、大宮盆栽美術館、漫画会館、岩槻人形博物館、鉄道博物館、浦和美術館、他…)

日本を含み10か国29組のアーティストを招き、また市立中高生など市民団体11組によるプロジェクトも展開。

その他市民プロジェクトもキュレーター3名となり、221人のさいたま市ゆかりのアーティストが参加(西・北・大宮・中央・桜・浦和・南区で展開)

入場料は一日チケットが市民は、前売り1,000円、当日は1,500円。フリーパスもあります(前売り市民は2,500円、当日3,500円)。

※市外は別料金



モルック体験に行ってきました!

大宮区役所が開催した「モルックとラウンドネット」というスポーツ体験教室に参加しました。

写真のモルックはフィンランド生まれのスポーツ。並べた数字の書いてある木のピンをモルックという棒を投げて倒し、得点を早く50点ぴったりにするという競技です。動きも激しくないので、年齢問わず誰にでもできる競技だと感じました。おまけにどれを倒すか、相手の邪魔もするとなると…と頭を使うゲームです。奥が深そう!! みんなで公園でやっても楽しそう。モルックで検索してくださいね。

真ん中は同じ会派岩槻区の松本翔さん。



市政に対するご意見やみなさんのモヤモヤ等どうぞ声をお聞きかせください。みなさんの声は右横の2次元コードからLINEでご連絡ください。合わせて市の情報や、佐伯かずみの情報も流しています。毎月の佐伯カフェは、9月17日(日)朝9時から11時まで事務所にて。お気軽にご参加ください。(写真は朝の駅頭で。市民の方が撮ってくださいました)



【訂正】NO.62 大阪府川西市→兵庫県川西市でした。お詫びして訂正いたします。